

けいすいそんしょうしゃ
私たちは頸髄損傷者です

けいそんかいたいしんしょ 頸損解体新書2010 ひとりじゃないよ

このたび、「頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査（2009年）」によって把握できた情報を、広く頸損者や関係各機関に提供し、問題点を提起するために「頸損解体新書 2010 ひとりじゃないよ」を発売しました。同じ障害をもつ者が全国どの地域に暮らそうとも同じ生活が保障される、また、得られた情報を共有し、セルフヘルプ活動に活用して問題点の解決に役立てていただけることを願っています。私たちにとっては情報は命を救う藁でもあります。

【ご注文先】

担当：兵庫頸髄損傷者連絡会 担当：事務局・宮野

E-mail：hkeison@yahoo.co.jp

FAX：0795-42-9286

頒価：2,000円

『頸損解体新書2010 申込』と明記し、冊数、氏名、送付先をご記入ください。
振込用紙を同封してお送りいたします。



「頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査」調査報告書

(財)テクノエイド協会「平成21年度福祉用具普及促進助成事業」

全国頸髄損傷者連絡会／日本リハビリテーション工学協会協力事業

編集 「頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査」
実行委員会

発行 全国頸髄損傷者連絡会

<目次> (概要)

頸髄損傷者の目指す自立生活と本書

頸髄損傷者の身体機能解説

第1部 人生をあきらめない、自分らしく生きる

1-1章 失うということ、そこから始まる

新しい人生

【事例紹介-1~4】受傷からこれまでの経緯

【事例紹介-5~7】在宅生活、そして家族との関係

【事例紹介-8】施設から地域での

自立生活へ

【事例紹介-9~10】結婚する、子育てする

【事例紹介-11】学ぶ

【事例紹介-12~15】はたらく

【事例紹介-16】楽しむ

【事例紹介-17】仲間がなかまを支えるということ

1-2章 これまでの活動、そして未来への伝言

1-3章 頸髄損傷者を取り巻く課題

第2部 頸髄損傷者の自立生活と社会参加に 関する

実態調査報告

2-1章 全国頸髄損傷者実態調査の方法

2-2章 地域間格差

2-3章 重度頸髄損傷者が抱える問題

2-4章 高齢化と性別による問題

2-5章 健康

2-6章 生活環境

2-7章 外出の壁

2-8章 就労の壁

2-9章 頸損実態調査票

第3部 頸髄損傷者の自立生活と社会参加の促進に

向けた提言

3-1章 頸髄損傷者を取り巻く社会状況

3-2章 頸髄損傷者に残された社会的条件整備の 課題

3-3章 誰もが自立できる社会を目指して

第4部 資料編